

地域DX化を支える最先端製品・ソリューションが 9コーナーの分野別展示で勢揃い

ミハル通信は「ケーブルテレビを元気に、地域をもっと元気に!」をテーマに、地域DX化を支えるケーブルテレビをサポートする最先端の製品・ソリューションをケーブル技術ショー 2024 で展示します。最新のソリューションでケーブルテレビを進化させ、安心・安全な生活を共に実現していきます。

(文：ミハル通信株式会社 事業戦略企画室)

今回のケーブル技術ショーでは、以下のコーナー展示を行います。

① コンテンツ保護用スクランブル装置

ケーブルテレビ事業者の地上デジタル自主放送設備から送出する放送コンテンツの著作権（権利）保護のために、信号にスクランブルを施す装置です。ミハルでもついに製品化しました!

② IP入力 QAM 多チャンネル変調ユニット /16 ポート ASI 入出力 TS over IP送受信装置

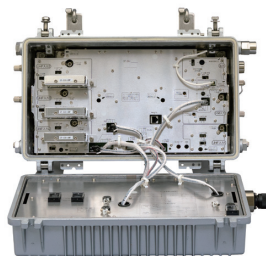
1ユニットあたり最大12波出力、NIT変換機能を1ユニットで実現します。ケーブルテレビ事業者が広く採用している既設TS over IP伝送装置の置き換えが可能です。

③ 動画視聴機能付き IP 放送用監視装置

IP放送をオールインワン構成の1台で監視が可能です。

④ デジタルチャンネルプロセッサ

難視聴対策・受信障害対策に最適、地デジ放送信号最大11波まで対応可能です。災害時に地上デジタル放送の仮復旧を支援。デジタル化により周波数変更が簡単になり、本器1台で対応可能です。



デジタルチャンネルプロセッサ MCP-A



770/3224MHz 直接変調型
光送信器 MOTSDシリーズの後継機

また、770/3224MHz 直接変調型 光送信器 MOTSDシリーズの後継機についてもご紹介いたします。

⑤ FTTH ソリューションシステム

導入実績は多数あり、今も多くの受注をいただく信頼ある製品です。幅広いラインナップを揃え、新規・リプレース案件とも対応可能となっています。展示ラインナップは光ファイバー増幅器 MOAPNシリーズ、MOSFシリーズです。



光ファイバー増幅器 MOAPNシリーズ (左)、MOSFシリーズ (右)

⑥ GE-PON 装置 (GE-PON OLT・GE-PON ONU)

⑦ ELL システム (事例紹介)

極超低遅延映像圧縮伝送システムを実現する、2K/4K対応 HEVCエンコーダー、デコーダーです。2K映像を4ch同時で伝送することも可能であり、ケーブルテレビの自主放送素材伝送にも利用することができます。今までミハルが ELL システムを使用して行った事例をご紹介します。

⑧ 気象データと降雨減衰

ヘッドエンド装置のリモート保守ソリューション、M-3 (エム・トリプル) も併せてご紹介いたします。

⑨ ミハル製品ロードマップ

ミハル通信とケーブルテレビの歩んできたこれまでと、これからについてご案内します。ミハルは日本のケーブルテレビの誕生、発展と共に歩みを進めてきました。そしてそれをこれからも続けてまいります。本記事の冒頭でご紹介した「最新のソリューションでケーブルテレビを進化させ、安心・安全な生活を共に実現していく」という目標に向けた決意と計画をロードマップでお示します。

